

6・10 国鉄集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年6月4日
30

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

法大「暴処法」で無罪!



6・1法大デモ打ち抜く!

みなさん! 09年法大「暴処法」弾圧裁判の判決公判が5月31日に行われ、「全員無罪」の画期的な勝利が切り開かれた! 未曾有のデッチあげ弾圧を、完璧に粉砕したのだ!

法大闘争と2012年決戦の大爆発への号砲だ。

判決は「監視カメラの画像を見ても5人が損壊したと認定するには疑いが残る」として検察側の主張を排除した。さらには検察のつくり上げた「事前共謀」「現場共謀」という虚構のストーリーも否定した。被告団の完全黙秘 8カ月に及ぶ獄中闘争、弁護団の法廷闘争、そして全国からの圧倒的な支援によってたぐり寄せた完全勝利だ。

翌6月1日には無罪の恩田君・増井君を先頭に「無罪パレード」として第二波法大包围デモを打ち抜き、圧倒的な法大生の注目を集めた!

法大闘争は本年4・19デモ弾圧粉砕に続く無罪判決で、大進撃している。法大当局の責任徹底追及とすべての不当処分の撤回、増田総長体制打倒へ突き進もう。そして6・10国鉄集会に法大生と全国学生は最先頭で決起しよう。京都大全学自治会樹立をかちとり、日本学生運動の歴史的高揚へ!

京大同学会選挙投票総数

現在 1960 票

無罪の増井真琴君(文連企画局長)アピール!

法大生の皆さん、こんにちは。文化連盟の増井真琴と申します。

昨日5月31日、僕と、ここにいる恩田君、織田さん、そのほか計5名が東京地方裁判所で、無罪判決を受けました。2009年5月15日に、「暴力行為等処罰に関する法律」違反で逮捕され、起訴され、8ヶ月も東京拘置所に勾留されていた私たちですが、その裁判の結果、結局我々に罪があったのかどうかという時に、結果は無罪でありました。

東京地検、警視庁公安部、そして被害届を提出という形でこの間一貫して学生を警視庁公安部に売り続けていた法政大学は断固として我々に謝罪しなくてはならない。あやまれ!

無罪の人間を、公安警察に逮捕させ、起訴させ、裁判を受けさせ、そして処分すると。そういう不当なことをやってきたのが2006年3月14日以来の法政大学じゃありませんか。

そして結局、東京地裁によって、そんな法政大学のやっていることはデタラメなんだと言って、我々に無罪判決を宣告した。それが昨日の裁判です。

いま、2008年以来文化連盟は学生運動してきましたけれども、それからもう4年もたち世代交代も進んでいるのかなという気がしています。ここに現役の法大生も何名かいますけれども、私たちに引き続いてこの法政大学の学生運動を徹底的に盛り上げていって頂きたいと思います。僕たちも協力できることがあれば主体的に、全力で支援します。みなさん、今日の法大包围デモ貫徹していきましょう。

無罪の織田陽介君（前全学連委員長）アピール！

無罪の織田と申します。よろしくお願いします。

無罪ですよみなさん。法政大学でこれまで119人逮捕されながら学生が立ち上がってきましたよね。僕も8ヶ月近く東京拘置所に入れられました。それも全部無罪です。国家権力が許しがたいと言うことと、でも国家権力が、弾圧してきた奴らが最後、昨日法廷で「無罪です」って自分で言うっていう。これはもう最高に気持ちよかったです。

国家権力だって僕たちは揺るがすことができるんです。国家権力が何をしようと、暴力をふるおうと、打ち負かすことは可能だってことを昨日改めて僕は感じることができました。

みなさん。一言でいって、今の時代、仲間と一緒に団結して立ち上がるってことは大変なことです。本当に難しいことです。原発のこと見たってそうじゃないですか。「原発がなかったら雇用がなくなるよ」こういう風に言われる。雇用が欲しければ原発に反対するな、みたいな。放射能も嫌だし、解雇も嫌だって当然のことを言えないわけですよ、この社会は。本当におかしい。基地がいらないって言ったら、「沖縄の人たちの雇用どうすんの」とか、こんなことばかり言われる社会で、だけどころ分断、分断の社会の中で、仲間と共に団結して立ち上がることさえできれば、国家権力の鼻っ柱を折ることだってできるんですよ。

みなさん何の為に大学来ました？ 就職の為、単位の為、色々あると思うんですけど、やっぱり俺たち学生は、熱く生きて、この社会の、歴史の主人公として、堂々と生きていく為に、仲間と楽しいことやって、はちゃめちゃやって、本当に素晴らしい思い出をつくるために大学に来たんじゃないんですか。俺たちの闘いって言うのは、やっぱり青春じゃなきゃいけない。仲間を守らなきゃいけない。仲間と一緒に感動して、立ち上がって、涙を流しながら生きていって、国家権力の鼻っ柱をへし折っていくような、そういう生き方をしなきゃいけないってことだよ。学生が、大学に来ているんだったら、やっぱ「ザ・青春」でいきましょうよ。それが俺たちの唯一の、勝利の力なんですよ。だから今日、デモやります。無罪パレードやります。俺たち学生が「ザ・青春」で楽しく元気に、仲間と共に生きていく、そういうデモですよ。それがこの社会を変えるんです。法大の現状を変えるんです。飲酒規制ふざけるなど。仲間と酒飲んで何が悪いんだと。そういう怒りで俺たちが立ち上がるしかないんです。

みなさん。闘っても無罪になるんです。大丈夫です。もう何も言わせません。ぜひ皆さん、共に立ち上がって欲しいと思います。頑張りましょう。



「無罪」をひっさげて6月1日
文化連盟3役が法大門前に推参！

無罪の恩田亮君（文連副委員長）アピール！

どうもみなさん初めまして。ここ法政大学文学部哲学科出身の恩田亮と申します。最近まで僕は犯罪者を名乗ってたんですけど、昨日正式に東京地方裁判所から無罪と言われたので、今日から肩書き変えますよ。無罪の恩田亮です。

昨日、何と無罪判決を取りました。僕に関して言えば、どこからどうみても無罪としか言いようのない風貌なんで、当たり前とおもってたんですけど（笑）。

今就職超氷河期と言われてます。就職できない世の中、行き詰まった世の中です。学費が法政は昔は安かったんですよ。首都圏の私大の中でも一番安かったんですけど、今では年間100万越え。しかも学費スライド制というのがあって、年々学費が上がっていくっていう詐欺みたいな規則があるんですよ。何でこんなものができたかって言うと、それは学生運動が沈滞化しちゃったからなんですよ。学生会館がなくなって、学生運動をする人がいなくなったから、法大当局と理事会は好き放題学費を上げて、我々から年間100万近く搾り取った上に、我々から自由なサークル活動とかをさせないってことをしてきたんですよ。どうしたらいいかって言ったら、答えは一つしかないんですよ。参議院とか衆議院に就職率改善の為の要望書を出したりしても、何も変わらないんですよ。世の中厳しいんで、そんな紙っぺら一枚で変わるほど甘くないんですよ。じゃあ俺ら学生は何をするべきかって言うと、バリケードストライキですよ。学園を実力で封鎖して、周辺をデモして、解放区を作って、それをもって要求するんですよ。キャンパスでバリストして、政府に要求する。早い話が東大安田講堂ですよ。ああいう風に占拠すればいいんです。そうやって我々は未来を掴んでいくべきだと思います。

国鉄闘争全国運動 6・10全国集会

新自由主義と闘う労働組合をつくろう！ 国鉄分割・民営化反対、1047名解雇撤回

6月10日(日)13時～

東京・文京シビックホール（文京区春日1-16-21）

【主催】国鉄分割・民営化に反対し、1047名の解雇撤回闘争を

支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

<http://www.doro-chiba.org/z-undou/z-index.htm> nationwidemovement@yahoo.co.jp

右写真は、1780人が結集した昨年6月5日の国鉄大集会(日比谷公会堂)

